

ながい

長井地区かわまちづくり

題名:長井フットパス

～かわからまちへ、まちからかわへ～

- 推進主体:長井市かわまちづくり推進協議会
- 構 成 員:長井市、長井商工会議所、長井市観光協会、地域団体、NPO 他
- 対象河川:最上川水系最上川(一級河川)

【かわまちづくりの概要】

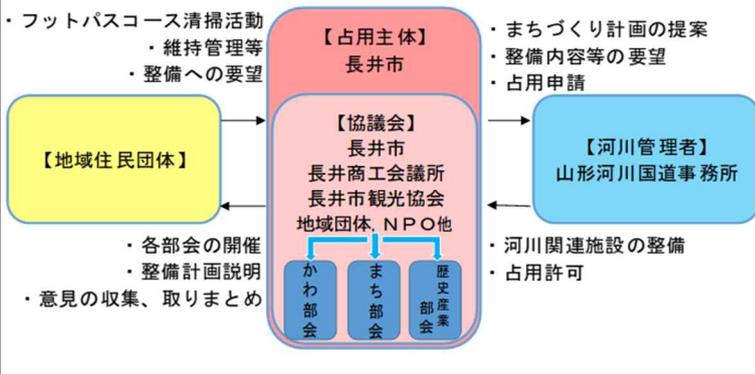
- ・ 長井市の特徴である「かわ」と「まち」を繋げ回遊性を高めるため、地域住民と連携を取りながら、全国の先駆けとなるフットパスを整備。
- ・ フットパスマップの作成など計画時から継続して地域が積極的に関わり、イベント開催やボランティアガイドの養成を進め、利用者数の増加、かわとまちの回遊性向上に寄与している。



【評価のポイント(審査委員コメントより)】

- ・ 舟運で栄えた長井市の特性を活かし、地元団体と民間事業者がうまく協力して事業を進めている。
- ・ フットパスにより「河川空間」と「まち空間」が連携し、さらにそれをつなげる役をボランティアガイドが担うことで、かわとまちの回遊性を向上させる取組が、際立って優れている。

管理運営体制図



図・写真:フットパスマップ(左下)とウォーキングイベントの様子(右上・中)。ボランティアガイドの様子(右下)。

問合せ先

長井市建設課

TEL:0238-87-0863

E-Mail:kensetsu@city.nagai.yamagata.jp

てんまがわ きゅうおおたがわ ほんかわ もとやすがわ
天満川・旧太田川(本川)・元安川地区
 きょうばしがわ えんこうがわ
及び京橋川・猿猴川地区かわまちづくり
 題名:水辺のオープンカフェ

- 推進主体:「水の都ひろしま」推進協議会
- 構成員:国土交通省・広島県・広島市、学識経験者、経済・観光関係団体、市民団体等
- 対象河川:太田川水系元安川・京橋川(一級河川)

【かわまちづくりの概要】

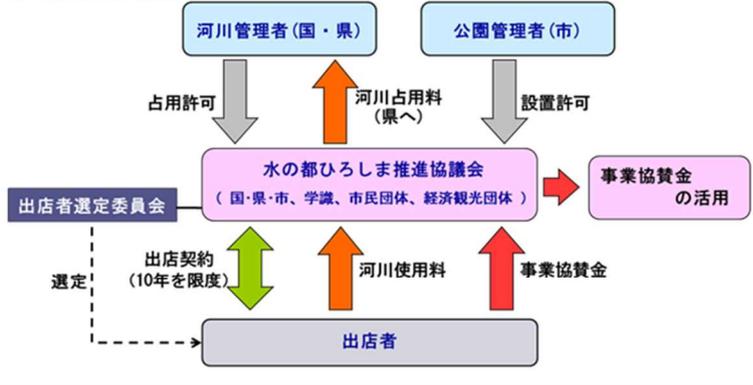
- ・ 河川区域における民間事業者による常設のオープンカフェとしては京橋川が日本で初めてであり、約15年の実績がある。
- ・ 出店者から預かる事業協賛金をカフェ周辺の環境整備に活用し、カフェへの誘客を図るとともに、地域の景観向上に還元している。



【評価のポイント(審査委員コメントより)】

- ・ 「まち」と「かわ」が一緒になって都市を盛り上げてきた長年の実績とともに、それが今なお継続され、まち側への波及効果をもたらしている。
- ・ 「民間事業者を協議会がプラットフォームとなり選定する」「得たお金を事業にまわしていく」というスキーム自体が全国モデルとして、他地域にも波及している。

管理運営体制図



図・写真:京橋川(左下、右下)、元安川(右上)のオープンカフェの様子。提供される食事(右中)。

問合せ先

広島市経済観光局観光政策部 おもてなし推進担当
 TEL:082-504-2676 E-Mail:kanko-omo@city.hiroshima.lg.jp

**平成30年度「かわまち大賞」
審査委員会 開催概要**

○開催日時：平成30年10月2日

○開催場所：国土交通本省会議室

1. 応募箇所

- 「かわまちづくり」支援制度には、現在、191件が登録されており、その中から今年度は、16件の応募がありました。

2. 審査委員会

- 審査委員会は、河川に造詣が深い、都市計画・エリアマネジメント・観光等の分野の有識者4名で行われました。

	氏名	所 属
委員長	陣内 秀信	法政大学 特任教授
委 員	楓 千里	(株)JTBパブリッシング エグゼクティブ・アドバイザー
委 員	中庭 光彦	多摩大学経営情報学部 事業構想学科 教授
委 員	保井 美樹	法政大学 現代福祉学部 人間社会研究科 教授

(五十音順、敬称略)

3. 審査結果

- 今回の選定にあたっては、今後の「かわまちづくり」の方向性を示すことを重視し、選定委員の総意により、2件が選定されました。